令和６年度

中津川市水道事業会計補正予算書

令和６年９月補正

令和６年度　中津川市水道事業会計補正予算　（税込み）（第１号）

議第６３号

（総則）

第１条　令和６年度中津川市水道事業会計の補正予算（第１号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第２条　令和６年度中津川市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第３条に定めた収益的収入の予定額を次のとおり補正する。

収　　入

科目		(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第１款	水道事業収益	2,555,808 千円	8,962 千円	2,564,770 千円
第３項	特別利益	1 千円	8,962 千円	8,963 千円

令和６年８月２９日提出

中津川市長　　小　栗　仁　志

令和６年度　中津川市水道事業会計補正予算実施計画（税込み）

収益的収入

（収入の部）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

款	項	目	既　決 予定額	補　正 予定額	計	備　　考
1　水道事業収益			2,555,808	8,962	2,564,770	
	3　特別利益		1	8,962	8,963	
		2　過年度損益修正益	1	8,962	8,963	

令和６年度　中津川市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書（間接法）

（令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで）

（単位：千円）

1　業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	85,127
減価償却費	764,760
固定資産除却費（除却工事費を除く）	18,238
引当金の増減額（△は減少）	△ 966
長期前受金戻入額	△ 259,821
受取利息及び受取配当金	△ 431
支払利息及び企業債取扱諸費	37,480
未収金の増減額（△は増加）	124,829
未払金の増減額（△は減少）	△ 52,105
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 3,775
前払金の増減額（△は増加）	76,403
預り金の増減額	△ 80,423
小計	709,316
受取利息及び受取配当金	431
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 37,480
業務活動によるキャッシュ・フロー	672,267
2　投資活動によるキャッシュ･フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 2,288,139
有形固定資産の売却による収入	1
負担金等による収入	537,488
投資活動によるキャッシュ･フロー	△ 1,750,650
3　財務活動によるキャッシュ･フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	971,200
一時借入による収入	200,000
一時借入金の返済による支出	△ 200,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 225,462
一般会計からの出資による収入	239,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	985,046
資金増加額（又は減少額）	△ 93,337
資金期首残高	934,498
資金期末残高	841,161

令和６年度　中津川市水道事業会計予定貸借対照表（税抜き）

（令和７年３月３１日）

資　産　の　部

（単位:千円）

１　固定資産				
（１）有形固定資産				
イ 土地		265,350		
ロ 建物	364,173			
減価償却累計額	△166,069	198,104		
ハ 構築物	25,912,716			
減価償却累計額	△10,582,108	15,330,608		
ニ 機械及び装置	3,145,462			
減価償却累計額	△1,478,419	1,667,043		
ホ 車両運搬具	18,436			
減価償却累計額	△16,158	2,278		
ヘ 工具、器具及び備品	46,982			
減価償却累計額	△35,252	11,730		
ト 建設仮勘定		175,912		
有形固定資産合計			17,651,025	
（２）無形固定資産				
イ 電話加入権		10		
ロ 施設利用権		36,923		
無形固定資産合計			36,933	
（３）投資その他の資産				
イ 出資金		309		
ロ 投資有価証券		100,000		
投資その他の資産合計			100,309	
固定資産合計				17,788,267
２　流動資産				
（１）現金預金			841,161	
（２）未収金		281,983		
貸倒引当金		△1,759	280,224	
（３）貯蔵品			6,583	
流動資産合計				1,127,968
資産合計				18,916,235

負　債　の　部

（単位:千円）

3 固定負債				
（1）企業債				
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		3,631,672		
ロ その他の企業債		23,400		
企業債合計			3,655,072	
（2）引当金				
イ 修繕引当金		42,897		
引当金合計			42,897	
固定負債合計				3,697,969
4 流動負債				
（1）企業債				
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		222,045		
企業債合計			222,045	
（2）未払金			629,650	
（3）引当金				
イ 賞与引当金		4,972		
ロ 法定福利費引当金		846		
引当金合計			5,818	
（4）預り金			341	
流動負債合計				857,854
5 繰延収益				
（1）長期前受金				
イ 国庫（県）補助金	2,254,976			
収益化累計額	△1,271,361	983,615		
ロ 受贈財産評価額	1,238,744			
収益化累計額	△442,819	795,925		
ハ 工事負担金	7,673,718			
収益化累計額	△4,234,996	3,438,722		
長期前受金合計			5,218,262	
（2）建設仮勘定長期前受金				
イ 工事負担金		170,060		
建設仮勘定長期前受金合計			170,060	
繰延収益合計				5,388,322
負債合計				9,944,145

資　本　の　部

6 資本金				7,824,311
7 剰余金				
（1）資本剰余金				
イ 国庫（県）補助金		8,592		
ロ 受贈財産評価額		3,573		
ハ 工事負担金		118,024		
資本剰余金合計			130,189	
（2）利益剰余金				
イ 当年度未処分利益剰余金		1,017,590		
利益剰余金合計			1,017,590	
剰余金合計				1,147,779
資本合計				8,972,090
負債資本合計				18,916,235

注記

Ⅰ．重要な会計方針

1　資産の評価基準及び評価方法

(1)　有価証券の評価基準及び評価方法

・満期保有目的の債券　原価法による。

(2)　棚卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品　先入先出法による原価法による。

2　固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産（リース資産を除く。）

・減価償却の方法　定額法による。

・主な耐用年数

建物	15～50年
構築物	7～60年
機械及び装置	8～17年
車両及び運搬具	4～ 7年
工具器具及び備品	3～15年

(2)無形固定資産（リース資産を除く。）

・減価償却の方法　定額法による。

・主な耐用年数

施設利用権	16～20年

3　引当金の計上方法

(1)退職給付引当金

職員の退職手当は、「地方公営企業会計に係る申し合わせについて」に基づき、令和６年度から一般会計がその全部を負担することとなったため、退職給付引当金は計上していない。

(2)賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3)法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4)貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上している。

4　消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

Ⅱ．予定貸借対照表に関する注記

1　企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当事業年度末日の翌日から起算して１年以内に償還期限が到来するものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は1,089,430千円である。

Ⅲ．その他の注記

1　新会計基準移行に係る経過措置

(1)修繕引当金に関する経過措置

平成２６年３月３１日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

2　引当金の取崩し

(1)賞与引当金

当事業年度において、期末手当・勤勉手当を支給するため、賞与引当金6,469千円を取り崩す予定である。

(2)法定福利費引当金

当事業年度において、期末手当・勤勉手当を支給するため、法定福利費引当金を1,100千円を取り崩す予定である。

(3)貸倒引当金

当事業年度において、不納欠損に充てるため、貸倒引当金974千円を取り崩す予定である。

資　料

令和６年度中津川市水道事業会計補正予算説明書

令和６年度　中津川市水道事業会計補正予算実施計画説明書（税込み）

収益的収入

（収入の部）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

款　　項	目	節	既　決 予定額	補　正 予定額	計	説　　明
1　水道事業収益			2,555,808	8,962	2,564,770	
3　特別利益			1	8,962	8,963	
	2　過年度損益修正益	過年度損益修正益	1	8,962	8,963	水道管損傷補償金